

# 会 議 録

会議の名称	第5回戸田市受益者負担の見直し方針の見直しに係る懇話会
開催日時	平成28年3月23日(水) 18時30分～19時10分
開催場所	501会議室
出席者	座長 石田 万友実 副座長 石川 浩乃 委員 星山 孝子 委員 金子 善典 委員 遠藤 英樹 委員 手塚 静枝 委員 吉野 博司 アドバイザー 石井 晴夫
欠席者	委員 河合 悦治 委員 山上 睦只 委員 安部 孝良
事務局	総務部 奥墨部長 経営企画課 早川課長 西口主幹 町田副主幹 吉田主事
議題	1 開会 2 提言書提出 3 市長挨拶 4 懇話会を通して(各委員から一言) 5 その他 6 閉会
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	【次第】第5回戸田市受益者負担の見直し方針の見直しに係る懇話会 【会議資料】戸田市受益者負担の見直し方針の見直しに係る懇話会提言書

(会議発言の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会 ただ今から第5回戸田市受益者負担の見直し方針の見直しに係る懇話会を開会するので、よろしく願います。
事務局	2 提言書提出 石田座長から提言書を市長へ手渡し、市長と委員全員による記念撮影会を行った。
市長	3 市長挨拶 「戸田市受益者負担の見直し方針の見直しに係る懇話会」提言書の提出に当たり一言御挨拶を申し上げます。 皆様には、日ごろから市政に対し、御理解・御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。また、昨年11月から、お忙しい中にもかかわらず、本懇話会の委員として御活躍いただき、厚く御礼を申し上げます。 さて、本市では、受益者負担の更なる適正化を目指し、方針の見直しに取り組んでいるところである。見直しに当たっては、現在の社会状況や公共施設の経営的視点を踏まえるだけでなく、施設利用者の視点などからの見直しが重要となる。 懇話会では、市民、議会、行政の三者にアドバイザーを加え、それぞれの立場から、活発な意見交換が行われ、受益者負担割合の適正な細分化や公共施設の積極的な貸し出しに向けた新しい視点が提言書に盛り込まれているとの報告を受けている。 ただ今、頂戴した提言書については、これからじっくりと拝見させていただき、提言内容をしっかりと受け止め、最大限尊重しながら、方針の見直しを鋭意進めていく。 皆様においては、今後も本市の発展のため、引き続き、御活躍いただくことをお願い申し上げ、私からの挨拶と代えさせていただきます。
事務局	4 懇話会を通して（各委員から一言） 各委員から御意見・御感想を賜りたいと存ずる。 なお、欠席された委員から、「本日は、最後の懇話会に出席できず、誠に申し訳ない。ギリシャ語で時間を表す言葉に『クロノス』と『カイロス』と言い方がある。 『クロノス』は、年月や一日、1時間など量的で物理的な時間の流れを意味し、『カイロス』は、貴重で価値ある体験やかけがえのない大切なひと時など質的な時間を意味する。今回の懇話会に係わる時間は、とても『カイロス』的なものであった。また、何かの機会にお会いできることを楽しみにしている。」との御意見をいただいている。
委員	今年度は、本懇話会に加え、戸田市行財政改革プランに係る懇話会にも参加させていただいた。 二つの懇話会に参加したことで、戸田市の現状を知ることができた。そ

	<p>の中でも受益者負担の見直しについては、多くの課題を抱えていると思うが、今の負担レベルに甘んじず、多くの方に理解を頂き、見直しを積極的に進めてほしい。</p>
委員	<p>経済合理性などの経営的な視点から、本懇話会に参加させていただいた。そのため、行政としては受け入れにくい意見等も含まれていたかと思う。しかしながら、行政も経営していくという観点から、受益者負担の見直しを実施していかなければ、財政も破綻してしまうため、民間的な思考、より良い案になるよう、積極的な見直しをお願いしたい。</p>
委員	<p>懇話会では、市民の視点や専門的な視点などの委員それぞれの視点から検討することができ、勉強となった。</p> <p>本提言書は、様々な知恵が詰まった提言書となっているため、提言書を尊重しながら、受益者負担の見直し方針を見直していただきたい。</p>
委員	<p>市民、議会、行政の三者で受益者負担の見直し方針について、検討できたことは大変貴重な機会であった。</p> <p>本提言書には厳しい意見等が含まれているが、本提言書を参考にして、具現化して頂き、受益者負担の見直し方針の見直しを図っていただきたい。また、受益者負担の見直し方針の見直しを図るだけでなく、その方針に基づいて、受益者負担の適正化を図ることが重要である。</p>
委員	<p>市民、議会、行政の三者で検討できたことに感謝申し上げる。</p> <p>本懇話会では、受益者負担に係る様々な項目について、しっかりと議論できた。その結果として、提言書が作成されている。</p> <p>これらの検討結果を業務において、活かしていかなければならないと感じている。</p>
委員	<p>当初、公共施設の使用料の値上げに対しては反対であったが、5回にわたる受益者負担の見直し方針の見直しに係る懇話会を通して、戸田市の現状がよく分かり、将来世代に負担を残すのではなく、負担を平準化していくことも必要な視点であると感じた。そのため、使用料の見直しはやむを得ないものであると考えるようになった。</p> <p>今回の懇話会は、事前に会議資料を頂き、内容を確認することが出来たこともあり、有意義な会議であったことに加え、納得しながら受益者負担についての検討を行えた。</p> <p>この体験は、個人的にとっても貴重な経験であったので、他の市民にも将来負担の視点や戸田市の現状などをしっかり周知して、受益者負担の見直しを進めてもらいたい。</p>
座長	<p>副座長や事務局を始め、皆様に御協力いただいたことで、本懇話会が無事に最終日を迎えることができた。厚くお礼申し上げたい。</p> <p>本懇話会の提言を十分に活用していただき、受益者負担の適正化に努めてもらいたい。</p> <p>また、本懇話会で知り合った委員皆様との御縁を大事にして、今後も</p>

<p>アドバイザー</p> <p>市 長</p> <p>事務局</p>	<p>様々な意見交換を行っていきたいと感じている。</p> <p>戸田市では、上下水道事業等の関係で約 10 年以上委員などを務めさせていただいている。</p> <p>戸田市だけでなく、他市町村の自治体でも委員をしているが、戸田市民の意識が非常に高いと感じている。</p> <p>特に今回の懇話会では、座長と副座長が非常に優秀であり、全ての委員に意見を伺うようにしていた。意見を問われた委員も自分の意見や思いに基づいて発言しており、委員皆様のレベルの高さを感じている。</p> <p>さらに、戸田市の職員も常に勉強し、情報収集していると感じている。このことについては、国等の会議においても、積極的に発言させていただいている。</p> <p>また、受益者負担の見直しに係る検討においては、他市の場合は市外からの有識者だけの委員構成とするなど、市民としての観点が抜け落ちていることが多い。本懇話会は、市民を基本とした検討を行っており、市民の視点を多分に含んだ議論であった。その点は、全国でも類を見ない検討会議になったのではないかと感じている。</p> <p>このような懇話会を積極的に開催し、市民、議会、行政の意見交換を実施していくことは、重要なことであると感じている。</p> <p>受益者負担の見直し方針の見直しを実施した後は、公共施設等の使用料を実際に見直していくことが重要であるので、積極的に受益者負担の適正化に努めてもらいたい。</p> <p>座長を中心に市民の視点から、受益者負担について検討していただき、再度厚くお礼申し上げたい。</p> <p>受益者負担の割合をよりきめ細かに設定するなどの受益者負担の適正化に向けた提言については、しっかりと受け止め、受益者負担の見直し方針を見直していきたい。</p> <p>また、受益者負担の見直し方針を見直した後が重要であるので、しっかり取り組んでいきたい。実際の見直しに当たっては、市民への周知などを徹底してまいりたい。</p> <p>5 その他 本日提出いただいた提言書については、提言内容をしっかりと受け止め、最大限尊重しながら、庁内組織である行政改革推進本部及び行財政改革プラン策定検討委員会において、受益者負担の見直し方針の見直しを図り、その後、方針に基づいた受益者負担の適正化を実施していく予定である。</p> <p>その他について、何か質問はあるか。</p> <p>6 閉会</p>
-------------------------------------	---